

地元で愛される人気店を目指して奮闘中  
ピンチのときの助太刀に感謝しています

当店は、JR恵庭駅近くにあ

るカレーショップです。念願の創業は平成14年。前職で調理の経験はありましたが、経営のノウハウは全くない中での決断でした。

そこで、自分の店を持つために、まずは商工会議所の創業塾を受講し、事業計画を立てるところから始めました。

その段階では、前職と関連が深いハンバーグ店を始めようと考えていました。しかし、創業塾の熱心な講師や、参加していた仲間たちと、事業のコンセプトなどについて徹底的に議論を重ねた結果、事業計画を何度も練り直すこととなりました。

また、自分でもさまざまな方面から意識的に情報収集をするよう心掛けました。その結果、スープカレーの店を開くことを決

意したんです。

創業前の段階で、各方面からの刺激を受け、悩み抜いた末に「何とか起業できそうだ」という手ごたえをつかむことができたのは、大きな収穫でした。

開店当初は、多くのメニューを提供できるよう一生懸命でした。ですが、それでは満足のできる味やサービスが実現できない。迷った末にメニューを絞り込む決断をしました。

余計な油を極力落とし、具材も厳選。有名中華料理店とのご縁で生まれた「水餃子スープカレー」は、当店の看板商品になりました。

また、メニューゲットを固定客に絞りました。そこで、交通量の多い賃貸の店舗を手離し、閑静な昔の国道沿いに移転。お



カレー工房ビートル  
代表  
内藤 勝広 さん

かげで、近隣にお住まいの女性たちに愛される、アットホームな店舗が実現できたと思っています。

以前、公共施設の利用の件で、困っていたことを商工会議所の薬袋さんに相談したことがありました。すると、同所の専務さんが直接、市役所に話をしてくれました。本当に助かりましたよ。

毎年、確定申告の時期に薬袋さんとお店で話すのが年中行事となりました。日ごろの経営の悩みをいろいろ相談しています。お話しするうちに二つずつ課題を解決するために何をすればいいかが明らかになるので、こちらも安心して営業することができました。頼りになる商工会議所。これからもよろしく願います。

ご相談は最寄りの商工会議所までお気軽にどうぞ

担当者からひと言



恵庭商工会議所  
(北海道)  
※恵庭観光協会に専従出向中  
薬袋 真也

ビートルさんとは、創業時からのお付き合いです。ホテルの洋食厨房ちゅうぼうに務めていたキャリアを生かしつつも、丹念に情報収集され、経営改善にも非常に積極的です。

そのため、内藤さんからご相談を受けると、私も当事者として真剣に考え抜き、ご納得いただける解決策を提案できるよう、精一杯努力しています。

お客様に心から喜んでもらえるようにと、工夫と愛情がたっぷり注ぎこまれた一皿は、まさに絶品。つくり手の人柄同様、期待を裏切らない味わいです。

このお店のにぎわいは、私たち商工会議所職員の喜びでもあるのです。